

今日のまとめ

# 相談支援事業の経営について

本市の相談支援事業所の特徴としては、小規模の事業所や、他業務との兼務が多い状況です。

しかし、報酬体系(特定事業所加算)や、人材育成、業務効率の観点からすると、ある程度の規模を持った事業所で、専門的に相談を扱うことが、安定した収入の要と言えます。

そこで、収入面の効率を最大限活かす相談支援専門員の兼務についてご提案します。

# 兼務について

- ・ 指定特定相談（計画相談支援）
- ・ 指定一般相談（地域移行、地域定着支援）
- ・ 自立生活援助

この3事業は、相談を中心にサービスを提供するという点で親和性が高く、3事業全ての兼務も可能です。

※ただし1人の利用者に同時に提供できるのは、計画相談支援＋1事業まで(下図参照)

特に施設や病院からの地域移行（一人暮らし）に関しては、効率的に一連の関わりを持つことができます。



# 兼務について（人員体制）

	Aさん 常勤	Bさん 常勤	Cさん 常勤
指定特定相談	相談支援専門員	管理者/相談支援専門員	相談支援専門員
指定一般相談	従業者	管理者/従事者	従事者
自立生活援助	サービス管理責任者※	地域生活支援員	地域生活支援員
資格等	サービス管理責任者資格所有	現任研修修了者	
備考	※自立生活援助事業所内の立場としては、地域生活支援員を兼務できない。	特定事業所加算を取得するため	

計画相談支援を軸に、3人の職員が「自立生活援助」や「地域移行、地域定着支援」に該当するケースについては、ニーズに応じてサービスを提供していくパターン

直接支援に関わる相談員は、通常モニタリングができませんが、この3事業間では可能です。

地域移行支援、自立生活援助の「週1回（最低月2回）以上の訪問」は、計画相談のモニタリングの際に行うことが可能です。

# 相談系 3 事業の併給①

## 計画相談＋地域移行支援

### 病院から退院するAさんの例

(参考) 地域移行支援の報酬額→189,410円／6か月

	計画相談	地域移行支援	報酬	加算取得
1 月	相談開始(基本相談)			
2 月	計画作成案作成 (地域移行支援を利用)			
3 月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	31,203	初回加算
4 月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	25,723	
5 月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	25,723	
6 月		2 回以上訪問	25,723	
7 月		2 回以上訪問	25,723	
8 月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	55,315	退院退所加算
		モニタリング以外に計 8 回以上訪問	189,410	

# 相談系 3 事業の併給②

## 計画相談＋自立生活援助

病院から一人暮らしを始めたAさんの例

(参考) 自立生活援助の報酬額→210,116円／年

※その他に対応を行った際の加算 ・ 同行支援加算(月 1 回まで) → 5,480円

	計画相談	自立生活援助	報酬	加算取得
9月		2 回以上訪問	22,533	初回加算
10月		2 回以上訪問	17,053	
11月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	17,053	
12月		2 回以上訪問	17,053	
1月		2 回以上訪問	17,053	
2月	モニタリング実施→計画作成(更新)	モニタリングに加え 1 回以上訪問	17,053	
3月		2 回以上訪問	17,053	
4月		2 回以上訪問	17,053	
5月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	17,053	
6月		2 回以上訪問	17,053	
7月		2 回以上訪問	17,053	
8月	モニタリング実施	モニタリングに加え 1 回以上訪問	17,053	
		モニタリング以外に計20回以上訪問	210,116	

留意点1 内容が包括されるため、自立生活援助と地域定着支援の併給は不可

留意点2 計画相談で特定事業所加算を算定している場合は、福祉専門職員配置等加算の算定不可

# 相談系 3 事業の併給③

## 計画相談＋地域定着支援

病院から退院して 1 年経った A さんの例

(参考) 地域定着支援の報酬額→40,140円／年 ※

※その他に対応を行った際の加算

- ・ 緊急時の深夜早朝 (22-6時) の電話対応 → 1,030円／回
- ・ 緊急時の訪問支援 → 7,792円／回

	計画相談	地域定着支援	報酬	加算取得
9月		地域定着支援台帳の作成	3,342	
10月			3,342	
11月	モニタリング実施	適宜の情報把握	3,342	
12月			3,342	
1月			3,342	
2月	モニタリング実施→計画作成(更新)	適宜の情報把握	3,342	
3月			3,342	
4月			3,342	
5月	モニタリング実施	適宜の情報把握	3,342	
6月			3,342	
7月			3,342	
8月	モニタリング実施	適宜の情報把握	3,342	
		追加の対応はなし。 計画相談のモニタリングをもって、サービスの要件である適宜の情報把握として扱う。	40,104	※発生時に随時

# 相談系 3 事業の兼務に関して

## ■ メリット

- ・ 複数職員の関わりによる職場内スーパービジョン  
(人材育成)
- ・ 計画相談の基本相談の一部が+αの報酬に結び付く

## ■ デメリット、制約

- ・ 常時の電話対応  
→ 携帯電話の携行で足る
- ・ 体験用設備(宿泊棟)の確保  
→ 自事業所で困難な場合は、実施事業所との契約でも可



# 現役相談支援専門員の声



日々の支援の中でどのようなところにやりがいを感じますか？

基本相談だけではできない、大きな視点で支援ができることです。

地域との連携やネットワークを構築していくことに加えて、利用者さんと長く関われる点が他のサービスと違うやりがいの一つだと感じています。



利用者さんと一緒にプランを作成していく中で、各サービスや制度、関係機関に繋がっていったときもやりがいを感じます。



相談支援専門員だけでなく、利用者さんそして各関係機関と連携していきながら、長いスパンで支援を行っていくところが魅力ということですね。

# 現役相談支援専門員の声



一方で大変なこともありますよね？

そうですね、担当する件数が多すぎると単なる調整に終わってしまうというか、事務的になってしまうところがあります。



事務的になりすぎてしまうとやりがいが薄れてしまう要因になってしまいますよね。

あとは、利用者さんから困ったときは何でも相談支援専門員に連絡するという傾向があって、利用者さんと事業所の間に入って、クレーム対応することがあったりします。



なるほど、書類の提出期日に追われてしまうなど事務的な部分と、利用者さんからのイレギュラーな相談等があったりと、スケジュール管理が難しいですね。

# 現役相談支援専門員の声



その他、どのような点に注意しながら支援をしていますか？

制度につなげようと、フォーマルなサービスばかりを意識しがちにならないように、気をつけています。



もともと、サービスを利用されている方へ支援に入るときは、単にプランに落とし込むだけにならないように、相談支援専門員としての視点を持って支援に入るようにしています。



相談支援専門員の強みである、多くの知識をベースに事務的ではなく、利用者さまに寄り添った支援をしていただいているのがよくわかりました。



# 現役相談支援専門員の声



最後にこれから相談支援専門員として活動される皆さまへエールをお願いします。

相談支援専門員は利用者の生活全般への関わりが多いです。

そうした中で様々な価値観や状況を知ることで、支援者自身も気づかされることが多く、自分の成長にも繋がります。

支援を通して、ソーシャルワーカーとしての自覚が芽生え、利用者や各関係機関の皆さんから信頼や評価を得ることで、モチベーションも上がる仕事です。

大変なこともあります、ぜひ一緒に相談支援専門員として頑張っていきましょう。



支援を通して自己成長することでさらなるやりがいにつながっていくんですね。  
これから活動される皆さまにもぜひ感じていただきたいですね。  
お忙しいところ、ありがとうございました！

※「現役相談支援専門員の声」はあくまで個人の感想です。

# ご清聴ありがとうございました。

本日の内容に関するご質問等は、下記にいつでも  
もご相談ください。

健康福祉局障害施策推進課

Tel: 045-671-4133

Fax: 045-671-3566

Mail: [kf-soudanshien@city.yokohama.jp](mailto:kf-soudanshien@city.yokohama.jp)